

千葉市幕張新サテライトオフィス 殿

宇留賀 英夫

度々で申し訳ありません。追加でおねがいします。

超重要な質問(訂正版)

ギャンブル愛好者の数を外国人は「人・回」で、日本人は「人」である理由。
結果的にギャンブル愛好家は日本人が10%で外国人は138%（全員が愛好家で1.38回カジノのに行く）

「人・回」：1人でギャンブルに10回行けば 10人で数えます。

「人」：1人でギャンブルに1回行っても10回行っても 1人で数えます。

説明

外国人

シンガポール 本編112頁

シンガポールへの外国人観光客数 1, 164万人

シンガポールでのカジノ利用者を1, 800 (万人・回)

シンガポール人の利用者数 195 (万人) (人口: 518万人)

外国カジノ利用者数: 1, 605万 [=1, 800 (万人) - 195 (万人)]

外国人カジノ利用率: 1.38 [=1, 605万 (万人) / 1, 164 (万人)]

*シンガポールに入国した外国人観光客全員が、1.38回カジノを訪れていることになる。

195 (万人) は (万人・回) ではないが、「入場料合計195 (百万Sドル)、入場料100 (Sドル) からシンガポール人の利用者数を195万人とした」とありますから (万人・回) で良いでしょう。1, 800万 (人・回) は同じ人が重複してるので外国人カジノ利用率の計算は間違ってる。その結果シンガポールへの外国人観光客全員がギャンブル愛好者であるとしてる。

この考え方を幕張新都心にそのままってきて、幕張新都心にくる外国人観光客数を178万人にし、1.38を掛け246万人がカジノに来るとしてます。(113ページ新規開発型)

この考えを拡張すれば、最近日本に来る外国人は約1, 300万人です。全員がギャンブル愛好者で1.38を掛け約1, 800 (万人・回) がカジノに来てくれることになります。

この考え方は根本的に誤り

外国カジノ利用者数 (1, 605) (万人・回)

$$= \text{入場数 A (人)} \times [\text{平均入場回数}] \text{ (回)}$$

外国人カジノ利用率 = シンガポールへの外国人観光客数 (1, 164 万人) / A
入場数 A は、ここに出てる数字等からは計算できない。そもそもこうした数字は非公開とされてる。聞いたとする 1 日入場者 2.5 万人の大雑把な数字から 1, 800 (万人・回) としている。

日本人

日本人のギャンブル愛好者は 10% として計算してます。「2014 年のレジャー白書」を根拠にして (109 ページ)。日本のギャンブル愛好者は事実上パチンコをする人です。同白書ではパチンコをする人は 970 (万人) です。これはパチンコに 1 回以上行く人です。1 人当たり年平均 27.5 回行くそうですから約 2 億 7000 (万人・回) です。日本の成人人口は 1 億人程度でシンガポールでの考え方をすれば日本人は全員ギャンブル愛好者でパチンコに 2.7 回行くこととなります。

本編 (108 ページ) では

幕張新都心への日本人入り込み数	692 万人
幕張新都心以外への日本人入り込み数	480 万人
合計	1, 172 万人

としてますからカジノへ行く人は

$$1, 172 \text{ 万人} \times 2.7 \text{ 回} = 3, 164 \text{ (万人・回)}$$

とすべきです。野球を見に行く人は球場に入場する前にカジノへ行って球場退場後にもう一度カジノへ行っても足りません。しかも、日本人はカジノへは 1 万円の入場料を払い 2 万 6 千円負けてやる必要があります。都合 3 万 6 千円が 2 回で 7 万円です。野球を見に行く人は野球入場料以外に 7 万円必要になります。

ちなみに 3, 164 万人がもたらすカジノ新税を計算

カジノ入場料 1 万円の 50%	1, 582 億円
一人当たりの負け金 26, 000 円の 5%	411 億円
計	1, 993 億円 a

イオンモールの来場数は年間 3, 000 万人 (第 1 回市民報告会で市がイオンに聞いた数だそうです。但しもう少し期間を長く取らなければとの見解) から計算。

$$3, 000 \text{ 万人} \times 2.7 = 8, 100 \text{ 万人 (全員日本人として)}$$

カジノ入場料 1 万円の 50%	4, 050 億円
一人当たりの負け金 26, 000 円の 5%	1, 053 億円
計	5, 103 億円 b

$$\text{合計 } a + b = 7, 096 \text{ 億円}$$

参考 千葉市の 2015 年度予算 3, 902 億円

借金

1兆382億円

考察

厳密には来場者に係数をかけて各種の計算をするには問題がある。1人が重複して来ない場合に有効である。これはシンガポール、幕張新都心にくる外国人、日本人の時もである。例えば、50万人が2回来たときギャンブル愛好者は10万人でなく5万人である。

この考えは1.38、2.7を掛ける時も同じである。

特に野球場にくる人はホームチームのファンが多いと考えられ1人で何度もきてる可能性が高い。幕張の場合は不明ですが野球場には年間予約のボックスシートもある。

113ページ [考察] は全くのナンセンス。195 (万人・回) / 518万人 (人口) から利用比率は計算できない。

シンガポールでの大胆な計算

本来、カジノができれば「カジノができた行ってみよう」とする人達で、カジノができてくる前に来てた人の何割かではない。仮に原野や、広大な埋め立て閉鎖地にカジノを造ればだれも来ないことになる。国内では周囲何10キロ圏内で112ページのように

「カジノビジネス生活者調査第一 (博報堂2003年3月)」のような調査をするしかないであろう。ギャンブル愛好者は事実上パチンコをやる人で入場料1万円を払ってまで行かない。これに関しては後日考察する。外国人の場合はこうした調査もできない。

取りあえず「人・回」、「人」の問題を考える。112ページのように計算をしなくても、全体の観光客からカジノ利用者の割合は大まかには計算できる。

まず、カジノができる2010年前の2006-2009年の平均観光客数は約100万人である。カジノができてから増えたのがカジノ客とすれば大まかな数字は計算できる。観光客数にはシンガポール人が入ってないからそれを除く手間も必要がない。

2010年は1,160万人 増えた人は160万人 $160 / 1,160 = 0.138$

2011年は1,330万人 増えた人は330万人 $330 / 1,330 = 0.248$

売り上げは2011年を採用してるので0.25位で良いと考えられる。

現在幕張新都心の外国人利用者から推定できるカジノ客

$$= \text{現在幕張新都心の外国人} \times 0.33$$

2021年推定幕張新都心への外国人入り込み数 105万人

2021年推定幕張新都心以外への外国人入り込み数 73万人

計 178万人 (新規開発型)

本編での推計 178万人 $\times 1.38 = 246$ 万人

本書での推計 178万人 $\times 0.33 = 59$ 万人

差 187万人

尚、外国人の入場者数の図は順調に伸びてるように見える。しかし、2014年は「シンガポール、カジノ不振 中国人客減で売り上げ減少」マカオも同様である。

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/141125/mcb1411250500011-n1.htm>

また、観光客が増えたからカジノの客が増え売り上げも増えてるわけではない。売り上げは横ばいである。つまり、カジノ利用率は減ってることになる。

開業予定の2021年にシンガポール、マカオのカジノが存在してなくても驚かない。日弁連資料を読んでもあたり前の話し。「カジノは斜陽産業」である。

日本のバクチ（パチンコ、競馬等の公営も全て）も斜陽である。地方競馬は葬式の準備。

以上

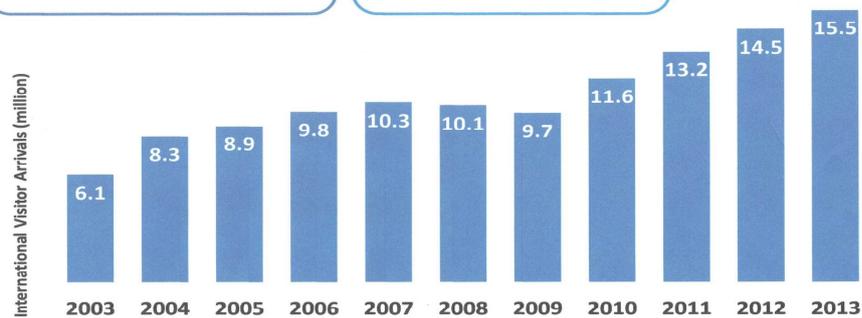
Tourism Sector Performance 2013

[https://www.stb.gov.sg/statistics-and-market-insights/marketstatistics/tourism%202013%20roundup%20presentation%20\(pdf\).pdf](https://www.stb.gov.sg/statistics-and-market-insights/marketstatistics/tourism%202013%20roundup%20presentation%20(pdf).pdf)

2013 International Visitor Arrivals

15.5 million
↑ 7.2%

Singapore remains attractive as a destination



*Preliminary estimates for full year 2013 as Nov – Dec 13 VA is based on ICA topline figures
Source: STB © 2013 Singapore Tourism Board

12

2013 Tourism Receipts: By Major Items

Growth across most TR components



Expenditure is estimated from Overseas Visitor Survey.
Other TR components include expenditure on airfares, port taxes, local transportation, business, medical, education and transit visitors.
* preliminary estimates
Source: STB © 2013 Singapore Tourism Board

6

